

ユーフォニアム公開レッスン  
Euphonium Masterclass

デビッド・チャイルズ

*David CHILDS*



### PROGRAM

通訳：木村圭太先生

Pf.：藤原亜美先生

#### <ミニ・コンサート Mini Concert>

- P. Graham/ Force of Nature
- L. Einaudi/ Due Tramonti
- J. N. Hummel/ Fantasies

#### <公開レッスン Masterclass>

- 菱沼直 Nao Hishinuma (学部4年)
  - K. Jenkins /Euphonium Concerto
- シュウ・ユーハオ Yu Hao Hsu (修士2年)
  - J. Reeman/ Sonata for Euphonium
  - P. Sparke/ Pulcinella
  - A. Wesolowski/ Euphory Concerto, 1<sup>st</sup> and 3<sup>rd</sup> mov.

2024. 6/17 (月)

17:30~

東京音楽大学  
池袋キャンパス  
B500

デビッド・チャイルズは、その世代において最も優れた金管楽器奏者のひとりとみなされている。

BBC フィルハーモニック、BBC ウェールズ・ナショナル管弦楽団、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団等のオーケストラ、その他、英米の数多くの著名な吹奏楽団や軍楽隊と共演。また、シンガポール国際音楽祭、BBC プロムス、ニューヨーク音楽祭等の数多くの音楽祭にソリストとして招かれており、また、世界各地のホールでソロリサイタルを行い、コンサートへボウ、ロイヤル・アルバート・ホールなどで協奏曲も演奏している。

新しい音楽にも精力的に取り組んでおり、イギリスでアルン・ホディノットの「Sunne Rising - The King Will Ride」を、カーネギーホールでカール・ジェンキンス卿の「ユーフォニアムと管弦楽のための協奏曲」など、これまでに16曲もの協奏曲を初演している。

チャイルズは、ユーフォニアムソリストとしてのキャリアにおいて、その功績が認められ、数多くの賞を受賞しており、レコーディング・アーティストとしても、2度の ITEA 優秀録音賞をはじめ、数々の栄誉に輝いており、ドイツグラモフォンをはじめとする多数レーベルからアルバムがリリースされている。

ブリティッシュブラスバンド界の誇りであるチャイルズは、英国ナショナル・ユース・ブラスや父ロバート率いるコーリー・バンドで10年間首席奏者を務めるなど、これまで数々のバンドでも活躍してきた。

2018年、チャイルズはノース・テキサス大学のユーフォニアム教授に任命され、現在洗足学園音楽大学客員教授、英国王立ウェールズ音楽大学国際客員講師も務める。また、エミネンス・ブラスの創設メンバーであり、カーディフ・シンフォニック・ウィンズの芸術監督、ブラスバンド・ワールド誌の編集者、〈ベッソン〉アーティストとして、クラシック音楽界でのユーフォニアムの存在を高めている。

入場無料 ・ お申し込み不要

お問い合わせ先：国際交流センター  
[study\\_abroad@tokyo-ondai.ac.jp](mailto:study_abroad@tokyo-ondai.ac.jp)